

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年5月分）

〔殺傷事件関連〕

5月2日〔銃撃事件〕 午後9時頃、コロザル郡パチャカン村において、男性（28歳）が村の入り口にある公園で銃撃され死亡した。被害男性は内縁の妻と一緒にパチャカン公園で談笑していたところ、フォード製の白いピックアップトラックから降りてきた男性から銃撃され致命傷を負った。通報を受けた警察官が駆けつけた時、犯人はすでに逃走しており、現在も捜査が続けられている。

5月5日〔銃撃事件〕 午後9時30分頃、カヨ郡ローリングクリーク村において、この村にすんでいる夫婦（ともに47歳）が銃撃され死亡、夫婦の息子（15歳）も足を撃たれケガをした。警察によると、何者かが夫婦の家を襲撃し妻を殺害した後、別の部屋にいた夫を殺害した。この襲撃の際に息子も被弾したが命に別状はなく、西部地域病院で治療を受けている。犯人は特定されておらず、現在も捜査が続けられている。

5月13日〔銃撃事件〕 午後7時30分頃、ベリーズシティ市ノースクリークの道路沿いにあるバスケットコートにおいて銃撃事件が発生した。警察によるとバスケットコート内で銃声があったと通報があり現地へ駆けつけたところ、20歳と30歳の男性が倒れているのを発見した。その後、KHM病院へ救急搬送したが死亡が確認された。銃撃した犯人は見つかっておらず、現在も捜査が続けられている。

5月21日〔刺殺事件〕 午後10時頃、カヨ郡のサンイグナシオ町にあるヴィクターガルベススタジアムにおいて刺殺事件が発生した。被害男性は、首と胸をナイフのような刃物で複数回刺され、スタジアム中央のベンチ付近で倒れているところを発見された。警察はこの事件の情報を広く住民に求め、現在も捜査が続けられている。

5月22日〔スーパーマーケット銃撃事件〕 午前9時頃、カヨ郡サンイグナシオ町にある61スーパーマーケットにおいて強盗事件が発生し、店主の中国人男性（53歳）1名が銃撃にあった。目撃情報によると、不審な男性2名がバイクで店の前に乗り付け、その内1名が拳銃を持って店内に押し入った。犯人達が逃走する際に店主は右肩を撃たれ負傷し、サンイグナシオコミュニティー病院へ救急搬送され治療を受けた。なお、同店は、2021年9月にも銃撃強盗の被害に遭っており、警察は過去の事件との関連性も含め、捜査を続けている。

5月26日〔理髪店内での刺傷事件〕 午後5時30分頃、コロザル郡サルテネジャ村にあるD's理髪店において刺傷事件が発生した。被害に遭ったのは30歳と31歳の男性（兄弟）で、

同店に来ていた他の3名の客と口論となり、31歳の男性は背中と頭部を合わせて8カ所刺され、30歳の男性は腹部に1カ所刺された。その後、被害に遭った2人の兄弟は北部地域病院へ救急搬送され治療を受けている。警察は容疑者3名を拘束しており、事件の詳しい経緯を調べている。

5月26日【銃撃事件】 午前8時頃、コロザル郡パライソ村において銃撃事件が発生した。被害男性（34歳）は、自宅で過ごしていたところ不審な男性が庭に現れ、3発発砲した後、逃走した。通報を受け駆けつけた警察が到着すると銃撃を受けた被害男性が倒れているのを発見した。その後、北部地域病院へ救急搬送され、容態は安定している。警察はこの事件の容疑者を引き続き捜索している。

5月30日【銃撃事件】 午前2時頃、カヨ郡ベルモパン市内において銃撃事件が発生した。被害に遭った男性（36歳）は、ママのバーで兄と過ごしていたが、途中、ビールを買い足しに出ようとしたところ、近づいてきた黒い服装の不審人物に左胸を銃撃された。警察は事件現場付近の監視カメラ映像を確認しているが、明確な手がかりは得られておらず、引き続き捜査を行っている。

5月27日【ナイトクラブ内での銃撃事件】 午前1時30頃、コロザル郡ランチート村にあるナイトクラブにおいて男性（共に24歳）2名が銃撃された。警察によると、被害男性達は別の男性客と口論となり、男性客は拳銃をと取り出し2名を銃撃、この内1名が死亡した。なお、死亡した被害男性は、コロザル町長のリゴ・ベロス氏が経営するスポーツジムの従業員で、町長と家族ぐるみの親しい友人だった。町長は今回の事件に関して哀悼の意を示すと共に、警察に対して事件解決を強く求めた。警察は逃走した容疑者を引き続き捜索している。

【強盗事件関連】

5月1日【強盗事件】 午前9時30分頃、ベリーズシティに住んでいる男性宅において、強盗事件が発生した。被害男性によると、午前12時30分頃、裏庭で飼い犬がいつもより異常に吠えているのに気がつき、確認に向かったところ2名の強盗犯が家の中にいた。強盗犯の一人が拳銃で被害男性を殴りつけた後に金品を要求した。その間、二人目の強盗犯が3,000 BZD相当のスマートフォン1台と、1,000 BZD相当のノートパソコン2台を盗んだ。その後、強盗犯はパトリッジ通り方面へと逃走した。現在も警察による捜査が続いている。

【麻薬密輸、違法銃器等関連】

5月10日【**麻薬密売**】 午後5時頃、サンイグナシオ町の近くで行われた車両検問において、バスに乗車していた2名の男性が麻薬密売の容疑で逮捕、起訴された。警察の調べによると、当時このバスには運転手と乗務員、乗客2名の計4名が乗車しており、検問所にて警察が乗客の手荷物を確認したところ、バスの網棚に789グラムの大麻が入った黒いナップザックを発見した。逮捕されたのは、25歳のグアテマラ人労働者の男性とサンイグナシオ町に住む19歳の男性だった。

5月24日【**麻薬密売**】 警察は、カヨ郡チャアクリークの道路で行われた検問において、大量の危険薬物を運搬していた車両2台を発見し、4名の男性を逮捕した。警察によると、運搬されていた危険薬物はメタンフェタミン（覚醒剤）約8.6キロとその他の薬物3,1キロの合計約11.7キロだった。逮捕された4名は密売するつもりで危険薬物を運搬していた。警察は詳しい経緯について調査を続けている。

【その他事件・事故関連】

5月5日【**食料品店の外で刺傷事件**】 午後7時頃、カヨ郡サンタエレナ町の食料品店において、買い物をしていた男性2名が襲撃され刺傷する事件が発生した。店内のレジで会計をしていた被害男性の2名は、店の外にいた別の男性グループに突然襲われた。被害男性達は店外にて応戦したが、この内の一人は右胸と左足に刺し傷を負い、もう一人の被害男性は、背中と腰の間に3カ所の刺し傷を負った。被害男性達は当初、サンイグナシオ・コミュニティ病院で治療をしていたが、その後、ベルモパン市の西部地域病院へと転院している。警察は、容疑者1名を逮捕したが残りのメンバーは依然として逃走中のため、捜査が続けられている。

5月6日【**入国管理官による暴行事件**】 西側国境の入国管理局において、ベリーズ国籍の女性が旅行のため国境を通過しようとしたところ、入国管理局の男性職員（48歳）から暴行を受ける事件が発生した。警察によると、女性客は男性職員が自分の審査の処理が遅いと感じたため、審査を急いでほしいと男性職員に伝えたところ、男性職員は突然この女性客を突き飛ばした。女性は地面に頭部を打って意識を失い、病院へ救急搬送された。この事件の詳細な経緯について、現在も調査が続いている。

5月13日【**隣国での麻薬事件**】 メキシコのキンタナロー州南部の都市、チェトゥマル市において、3.5トン以上の麻薬が押収された。メキシコ及びベリーズ当局によると、チェトゥマル市の港に不正に入港しようとした2隻の船をメキシコ海軍が発見し、船内を捜査したところ大量の麻薬を押収した。この事件は、チェトゥマルで活動しているカルテル（麻薬組織）が関連していると見られており、この事件はメキシコとの国境にあるコロザル郡の住

民に大きな不安を与えている。

5月26日【**溺死事故**】 午後2時頃、カヨ郡ビリーホワイト村の16歳の少年が川で泳いでいたところ、溺死する事故が発生した。この川に一緒に来ていた少年の父親の証言によると、少年は川の対岸まで泳いで渡ろうとしたが、川の急な流れに巻き込まれそのまま水中に沈んでいった。村人とダイバーの必死の捜索により少し下流の水域で少年を発見したが、救急隊が到着した時にはすでに息を引き取っていた。

5月31日【**飲酒運転事故**】 オレンジウオーク郡ブルークリーク村において飲酒運転による死亡事故が発生した。警察によると、男性（78歳）がバイクを運転中に衝突事故（単独）を起こし、頭を強く打って死亡した。その後の検死結果で、この男性は大量のアルコールを摂取していたことが判明し、飲酒運転による事故死とされた。当局は、バイクによる交通事故が増加傾向にあるとして、住民に注意を呼びかけている。